



第1084号  
2008年6月15日発行  
日本聖公会東京教区  
港区芝公園3-6-18  
編集人 伊藤裕元

WEB: http://www.nskk.org/tokyo/index.htm E-MAIL: comm.tko@nsk.org  
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◇6月の代禱・信施奉献先  
▽野宿生活者の休息施設のため(きぼうのいえ)▽葛飾学園(サンピエール・保育園)のため▽沖縄教区のため▽沖縄週間(沖縄慰霊の日6・23を含む1週間)▽エリザベスサンダースホームのため

◆教役者レクイエム  
6月18日(水) 10時半

主教座聖堂

説教 司祭 神崎雄二

▽伝道師梅本惣吉▽司祭秋山基一▽伝道師山口千里▽司祭山縣与根二▽司祭東信行▽司祭山縣雄杜三▽司祭伊木久次郎▽司祭宅間信基▽司祭寺井俊健▽伝道師山田ちよ▽司祭堀正一▽司祭山崎正雄▽司祭大野俊朗

▽西武地区キリスト教教会連  
合「講演会」 講師に柳時京司祭

場教会。

▽浅草聖ヨハネ教会で「東京都福祉レク・ネットワーク」勉強

会 6月18日(水) 18時半〜20時半、「みんなで楽しく『歌ってリズム』。講師・前田キヨ子(高齢者への音楽療法など多方面で活躍)。照会・申込先 ㊦03(3855) 16820 ㊦同事務局。

今週・来週の予定

6月15日~28日

- 15(日) 聖霊降臨後第5主日 主教巡回 月島聖公会 教役者会
- 16(月) 山手G 牧師協議会(聖三一) 人権委員会(聖バルナバ) 拡大聖職会
- 17(火) 礼拝音楽委員会 正義と平和協・運営委員会
- 18(水) 教役者レクイエム(主教座) 月島将来計画特別委員会
- 19(木) 主教座聖堂活動委員会 信徒講座: 雨宮神父(池袋)
- 20(金) 城南G 牧師協議会(三光)
- 22(日) 聖霊降臨後第6主日 主教巡回 清瀬聖母教会
- 23(月) 聖職養成: 教役者宿泊研修会(〜25日・箱根) 財政委員会
- 24(火) 銀座朝拝会
- 26(木) 信仰と生活委員会
- 28(土) 聖バルナバ教会130周年 記念礼拝

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

「罪のアントニムは、何だろう。これは、むずかしいぞ。太宰治の『人間失格』の一節だ。良識ある方々に叱られそうなる本からの引用で恐縮だが、これは主人公と友人が酔った勢いで興じた言葉遊びで、アントニム、つまり反対語探しの中のセリフだ。罪の反対語、太宰の結論はどうやら「罰」だったように思えてならない。作品自体というよりも、自ら命を絶った作者の生涯がそう物語っているような気がしてしまふのだ。「駆込み訴え」などキリスト教を主題に書いていた太宰だから聖書は読んでいただろう。しかし彼は「罪のアントニム」に対する聖書の提案を受け入れようとはしなかった。

「しかし、罪が増したところには、恵みはなおいつそう満ちあふれました」(ローマ5・20)。聖書は、律法が罪を増加させたと書いている。罪と罰はアントニムではなくシノニム(同義語)の関係だ。憎しみ、憎悪、復讐、処罰、制裁…。

自裁を含め、罰は罪を増大させる。しかし恵みは罪の現実を包み込みながら人間を永遠の命へと導く、と聖書は語る。

罪のアントニム

司祭 香山洋人

「信頼は罪なりや! 無

抵抗は罪なりや!」作中のセリフに私は

こう答えた。信頼(=信仰)、そして報

復の連鎖を絶つことこそが神の恵みの賜

物。罪のアントニムは罰ではなく恵みな

のだと。もちろんこの答えがむずかしい

ことは承知だが。

(立教学院チャプレン)

▽牛込聖バルナバ教会宣教130周年記念聖餐式 6月28日(土) 13時、説教Ⅱ植田仁太郎 教区主教。礼拝後には懇親会も開かれる。当日の信施はミヤンマーサイクロン被災者、とくに障害者のためにささげられる。多数参加歓迎。Ⅱ03(3268) 8067。

▽一粒の麦の会@東京教区の《教会巡りⅥ》 訪問教会・聖パトリック教会(立川)で聖餐式と昼食をすませたあと、立川防災館へ移動し、地震・消火・応急救護・AED取扱いなど各種の体験学習を。6月28日(土) 10時半同教会集合。費用は昼食代千円十移動路線バス代。照会Ⅱ事務局090-6538-0852。申込締め23日。

▽五本木九条の会講演会・憲法を学ぶ(61年目にして初めての9条違憲判決!「裁判所は役割を果たした今度は私たちの番だ!」名古屋高裁イラク派兵違憲判決を受けて) 講師・池住義憲(自衛隊イラク派兵差止訴訟の会代表)。6月25日(水) 18時半〜20時半、聖パウロ教会で。入場無料。事務局Ⅱ090(8044)8524。

▽立教女学院聖マーガレット礼拝堂唱詠晩禱Ⅱパイオルガン設置10周年記念感謝礼拝 6月29日(日) 16時。説教Ⅱ竹田眞主教。指揮・オルガンⅡ岩崎真実子。記念委嘱オルガン曲初演と同院高校・同OG有志・礼拝堂各聖歌隊の奉唱。参加歓迎。照会Ⅱ03(5370)3038。

《08フェスタ・コーナー》

発表グループ、出版・出店募集 ◇「お弁当」予約は行いません。皆さんの「味」の出店がメインです。会場・立教女学院短大の学食も利用できませんが、「お昼」飯の出店を! ◇展示による各種のアピールも大歓迎。◇昼食後はステージにお集まりください。へあなたにとどけたい! 3分間音楽祭の開催です。皆さんのグループの「伝えたい想い」を音楽に乗せて表現。:。時間は3分、1曲分です。皆さんの日頃の「活動や想い」を分かち合いたいと思います。多数のグループのご応募をお待ちしています。◇各申込の締切日にご注意を!

《フェスティバル実行委員会》

### 【学びと働きから】78

#### 日本聖公会総会に出席して

私にとって2回目の総会でした。出席の喜びに浸れるまれに見る総会だったとの、どなたかの感想に私も同感です。

専門家に任せておけば良いという案件よりも、宣教的で他人事にしておけない案件が中心にあったこと、宣教150年を意識し次の150年の課題を重く受け止め、教区、教会が本気で協働しなければならぬとの緊迫感が漂っていたせいだろうと思います。ウイリアムス主教時代の死に物狂いも話題になり、戦中戦後の時代や新しい一步を踏み出した10年前の状況など、過去の歴史に思いを馳せながら次を考えることに身震いした総会

だったのではないのでしょうか。

教区制を見直すためのブロック試行や宣教協議会に向けての段取りの確認など、最重要課題に対して、「質問のための質問」も少なく、概ねポジティブな議論が出来たのは末席議員としても喜びを感じました。総会が美しい結論を整えても次の総会や仕上げの期限までに何も起こらない、何も変わらないことなどが無いように信徒一人一人との課題共有や教区を超えた協働、管区をまたいだ交流にまで高める必要があると思いました。献金の問題、聖職給与水準のこともアンタタッチャブルではならぬ、ぎりぎり知恵を集めて「多様性の中の一致」を喜べる集団でありたいものです。

その他の感想としては…。

- 1 詩編の見直しや財政関連のきめ細かい作業に敬服
- 2 「出来ることだけ決めましょうよ」という意見に共感
- 3 様々に和解の道筋が大切だという複数の意見や質問
- 4 10年間でいくつ分の教会に相当する信徒数が減少したのだという危機意識
- 5 大阪教区主教選挙前の祈りに感じたこと「この世の知恵やかしこさを排して選ぶ」
- 6 歴史の振り返りと次なる誓約あつてこそその記念イベントだということ
- 7 同席して知り合い触れ合う機会としての総会の意味深さ

総会代議員 松田正人

【審議議案Ⅱ次号掲載】